

平成 27 年度 新技術・地域資源開発補助事業

市町村名	京都府和東町	
事業名	和東茶と和東産ハーブのブレンドティーの開発	
企業等概要	企業等の名称	一般財団法人和東町活性化センター
	代表者氏名	代表理事 奥田 右
	所在地	京都府相楽郡和東町白栖大狭間 35
	連絡先	0774-78-3396
	URL	http://wazukanko.com/bureau/

平成 28 年 12 月現在

【事業者概要】

(一財)和東町活性化センターは町の出資により昭和 63 年に設立され、宿泊施設「京都和東荘」の運営や町の公園の管理、特産品の開発・販売の実施に加え、新たな農業モデルへの挑戦等、魅力あるまちづくりに取り組んでいる事業者である。

【事業概要】

◇背景・経緯

和東町は京都府のお茶の約 4 割を生産するなど、お茶の栽培・生産が主産業となっている。一方で、お茶に続く「第 2 の農業」を和東町雇用促進協議会において模索しており、新規就農が比較的容易で商品開発の多様化（特に女性向け商品）が見込めるという理由から「ハーブ」に着目。和東町の特産品であるお茶とハーブを生かしたブレンドティーの商品開発に取り組むことになった。



《日本遺産にも登録されている茶畑風景》

◇研究開発の概要

和東町ではこれまでハーブの栽培を行っていなかったことから、雇用促進協議会と協働で試験栽培を行うところからスタートした。最初は露地での栽培であったが、その後、町の施設であるガラスハウスを活用。栽培したハーブを用いて試作品を作り町内外のイベントで試験販売を実施するなど、お茶とハーブのブレンド内容やパッケージデザイン等の試作を重ねた。



《ガラスハウスでのハーブ栽培の様子》



《イベントでの試験販売の様子》

【成果】

◇地域性・特徴

「月」をテーマに特産品であるお茶（煎茶・烏龍茶・ほうじ茶・和紅茶）と自家栽培のハーブ（レモングラスやレモンバーム等）をブレンド。月の満ち欠けによる体調の変化に合わせ、ハーブの効用や味の組み合わせを、繰り返し確かめながら4種類（新月・上弦・満月・下弦）のブレンドティーを開発。また、テーマに合わせたパッケージデザインの作成を行った。



《開発した和東茶とハーブのブレンドティー『月の明かり』》

■4種類のブレンドの内容と風味・効果

種類名	和東茶	ハーブ	風味・効果
新月に願う	煎茶	レモングラス/レモンバーム/ネトル	さっぱりした味/気分をリフレッシュ
上弦を望む	烏龍茶	茶花/ジャーマンカモミール/レモングラス	花の甘い香りとシャープな味/ダイエット効果
満月の叶い事	ほうじ茶	レモンバーム/レモンバーム/カレンデュラ	ほっとする味/気持ちを落ち着かせる
手放しの下弦	和紅茶	レモンバーム/ペパーミント/エキチカ	すっきりした味/気分を安定させる

◇商品化・販売先

平成27年度末に商品が完成し販売を実施している。和東町の交流拠点にもなっている「和東茶カフェ」のほか町外3店舗（10月時点）でも既に販売を行っており、新規販売先も決定している。



《地域の交流拠点・和東茶カフェ》



《和東茶カフェでの販売の様子》

【今後の展望】

雇用促進協議会と連携しハーブの栽培農家の増加に向けたセミナー等を行うとともに、地元高校と連携しハーブの栽培に取り組むなど、商品生産の安定化を図りつつさらなる販路の拡大を目指している。

また、ブレンドティー以外にもハーブを生かした新商品開発にも着手しており、町や雇用促進協議会等と連携しながら和東町の新たな地域産業や雇用の創出に向けた取組を行っていく。